

8 AICS® 受診前の注意点

血液中のアミノ酸バランスに影響を与える可能性がありますので、受診前に下記の注意事項をお守りください。

●検査前の飲食について

検査前8時間以内に、水以外(食事、サプリメント等)は摂らないで、午前中に採血してください。

なお、検査前日の夕食も肉、魚などの高タンパク質の食事は摂りすぎないようにしてください。

●検査前の運動について

正しい検査結果を得るために、できるだけ検査当日朝の運動はお控えください。

●検査前のお薬の服用について

薬剤のAICS値への影響に関しては分かっておりません。

検査当日のお薬の服用方法については、事前に主治医または健診施設にご相談の上、その指示に従ってください。



技術開発：味の素株式会社

医療機関名

アミノインデックス® がんリスクスクリーニング (AICS®) を受診される方へ

1 AICS® とは？

アミノインデックス® がんリスクスクリーニング (AICS®) とは、血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、**現在がんである可能性を評価する検査**です。



2 AICS® の特長は？



1. 血液中のアミノ酸濃度測定による全く新しいタイプの検査です。
2. 一度の採血で**膵臓がんを含む、複数(男性5種、女性6種)のがんを同時に**検査できます。
3. **早期のがん**にも対応した検査です。
4. 採血による**簡便な検査**であり、健康診断で同時に受診できます。

3 AICS® は、現在がんである可能性を報告します

AICS® は、それぞれのがんについて、現在がんである可能性を 0.0 ~ 10.0 の数値 (AICS 値) で報告します。数値が高いほど、現在がんである可能性が高くなります。

現在がんである可能性を判断する目安として、A、B、C の3つのランクに分類しています。AICS® では、ランク A → ランク B → ランク C の順番で現在がんである可能性が高くなります。

低い ← がんである可能性 → 高い

ランク分類		ランク A	ランク B	ランク C
AICS 値		0.0 ~ 4.9	5.0 ~ 7.9	8.0 ~ 10.0
AICS(胃)	胃がん	1/3,200 [0.3倍]	1/625 [1.6倍]	1/98 [10.2倍]
AICS(肺)	肺がん	1/2,963 [0.3倍]	1/536 [1.9倍]	1/111 [9.0倍]
AICS(大腸)	大腸がん	1/2,000 [0.5倍]	1/789 [1.3倍]	1/122 [8.2倍]
AICS(膵臓)	膵臓がん	1/3,478 [0.3倍]	1/789 [1.3倍]	1/86 [11.6倍]
AICS(前立腺)	前立腺がん	1/2,222 [0.5倍]	1/469 [2.1倍]	1/156 [6.4倍]
AICS(乳腺)	乳がん	1/1,509 [0.7倍]	1/556 [1.8倍]	1/250 [4.0倍]
AICS(子宮・卵巣)	子宮がん・卵巣がん	1/4,000 [0.3倍]	1/682 [1.5倍]	1/86 [11.6倍]

[]内は一般の方が、がんである確率(有病率)を1とした場合の、がんである倍率を示しています。



4 がんである可能性とは？

AICS[®]は、血液中のアミノ酸濃度バランスを解析することによって、現在がんである可能性を評価するものであり、生涯に渡ってのリスクを予測するものではありません。

なお、がんの有無を直接調べる検査ではありませんので、**ランクAであっても100%がんではないと言い切れません。**同時に受診した他のがん検診の結果と異なる場合があります。

また、血液中のアミノ酸濃度は様々な原因で変化するため、がん以外の疾患や、個人特有のアミノ酸のパターンにより、**がんでなくともランクBやCと判定される場合があります。**



5 AICS[®]の対象となるがん種は？

検査の対象となるがん種は、胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん（男性のみ）、乳がん（女性のみ）、子宮がん・卵巣がん*（女性のみ）です。

検査項目	対象となるがん種
男性 AICS（5種）	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん
女性 AICS（6種）	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん・卵巣がん*

*子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんを対象としています。子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかのがんである可能性について評価することができますが、それぞれのがんの可能性について区別することはできません。



6 検査の対象者について

AICS[®]は、下記年齢の日本人を対象として開発された検査です。これらの方以外の AICS 値は評価対象外となります。

検査名称	対象となるがん種	対象年齢
男性 AICS（5種）	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、	25歳～90歳
	前立腺がん	40歳～90歳
女性 AICS（6種）	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25歳～90歳
	子宮がん・卵巣がん	20歳～80歳

*上記の対象年齢以外の方が受診された場合でも検査結果は報告されますが、AICS 値やランク判定結果は評価対象外となります。
*一部のがん種についてのみが対象年齢外になる場合、そのがん種は評価対象外となりますので、ご理解いただいた上でご受診ください。

なお、以下に該当する方は、AICS 値に影響がありますので検査は受けられません。

- ・妊娠されている方
- ・授乳中の方
- ・がん患者（治療中を含む）の方
- ・先天性代謝異常の方
- ・透析患者の方

7 AICS[®]の結果に影響を与える可能性がある病気について

現在下記の病気にかかっている方は、AICS 値に影響を与える可能性があります。検査の対象外とするものではありません。

AICS[®]を受診することによって、がんを発見できる機会となると同時に、下記の病気による影響で、がんではないのに AICS 値が高くなりうることをご理解いただいた上で、ご受診ください。

現在までに各種 AICS[®]の結果に影響を与える可能性がある病気

- ・ AICS（肺）：慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症、肺結核、肺気腫、無気肺
- ・ AICS（前立腺）：前立腺肥大、糖尿病
- ・ AICS（子宮・卵巣）：子宮筋腫、子宮内膜症、良性卵巣腫瘍
- ・ 複数の AICS[®]：脳梗塞

